

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 **実績報告**

団体名	特定非営利活動法人 あんずぽこ	代表者名	理事長 河村夏代
事業名	地域での就学後の子育て支援 —思春期の「育ちなおり」の支援		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2015 年 4 月 8 日～ 2016 年 3 月 18 日 学校の休業日 以外の月火木 金 10 時～15 時	不登校の中学生のフリースクール 阪急甲陽園駅徒歩 2 分、元レストランだったおしゃれな建物です。 スタッフは 60 歳代の 2 人が中心で、若いボランティアも時々手伝いに来てくれました。 勉強・ゲーム・読書・お絵かき・ギターなど、子どもが興味のあることをしました。お昼は希望者には手作りの味噌汁をふるまいます。一緒に作ることもあります。各自お弁当や軽食を持参します。 時にはカレーやピザをみんなで作り食べます。 2 月には味噌作りもしました。行事に合わせて、ブラウニーやケーキも作りました。
2015 年度 (10 回) 4/19 5/17 6/21 8/30 10/11 11/ 8 12/20 1/17 2/14 3/13	保護者交流会 （第 3 日曜日を基本に年間 10 回、会費 500 円） 不登校や思春期の子育てで困っている保護者が集い、意見の交流をします。不登校の対応の仕方、進路情報などの学習会にもなりました。 保護者特に母親が毎回 5～12 名参加して困っていることなどを話し合いました。 不登校になり始めは「部屋を片付けない」「ゲーム漬け」「昼夜逆転」「暴れる」こういった心配が共通しました。数ヶ月経過すると昼夜逆転もなくなり、部屋を片付け始めたり、一緒に買い物に出かけるようになった。やがて、学校や勉強が気になり始め、あんずぽこに来るかどうか気にし始めるようです。 家庭やフリースクールでの子どもの様子も交流して子どもの今の状況を見立てることもします。子どもの変化の見立てはとても重要で、関わり方のヒントにされるようでした。時には学校の対応の良いところ、悪いところも話題になりました。 不安を語り合い共有し保護者が孤立しないでがんばれるエネルギー源になりました。
2015 年 7 月 5 日	ピザパーティ （親子で野外ピザ窯体験） 火を焚いたり、薪を拾う。ピザ生地を延ばし好きな具をのせ焼く。 不登校の家族交流会にもなりました。新しい人と話すきっかけにもなりました。
2015 年 11 月 28 日	思春期の子育て支援講座 （西宮市市民交流センター主催、団体協働事業） 就学後の子育て不安に伝えるための講座で不登校以外の方も参加されました。子どもの自己決定する力をいかに育てるか、子育ての仕上げ期に焦らず子どもを信じることの大切さを話しました。 熱心に講演のあとまで残って相談される方もいました。思春期の子育て支援の大切さを感じました。 審査委員の方には期待され団体協働事業に採択され、市制ニュースにも広報していただいたのですが、講座そのものへの反応が少なかったのが残念でした。

効果と成果

「不登校に誰がなってもおかしくない」と文科省は述べています。しかし当事者はみな、「まさかわが子が…」とこれまでの子育てを否定されたように感じ、自責の念に駆られます。甘やかされて育ったからではありません。むしろその逆だったことが多いです。多くの体験者と出会い、不登校は個人的な問題ではなく、社会の解決すべき問題だと確信しました。親が自分や子どもを責めるとますます問題が深刻になります。こじれる前に外に援助を求めてください。

家族以外の他者に認められる体験が、子どもの自信回復につながります。自信を回復し、子ども自身の内側からの力で自己決定できるようになること。それが不登校回復の鍵になります。

収支決算書

(収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	400,000
民間助成金	600,000
自己資金	1,082,972
合 計	2,082,972

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	謝金	1,366,960	400,000
	消耗品費	103,880	0
	会場費	225,000	0
	雑費	83,677	0
	小 計	1,779,517	400,000
間接経費(一般管理費)		303,455	
合 計		2,082,972	400,000